

平成 29 年度の取り組み

1. 居住支援協議会総会の開催(3 回実施)

2. 「神戸すまいのあんしん入居制度」の改善に向けた検討および普及啓発

- ・平成 29 年 10 月 12 日に制度利用対象者の拡大および、制度名称・サービス名称を変更した
- ・安定的なサービス提供を行うため、サービス事業者の追加を行った

3. 住宅確保要配慮者への住宅情報提供の充実

居住支援協議会会員所属団体等の居住支援団体のHPとの相互リンク

4. 利用可能な空き家の有効活用方策の実施・検討(JTI「マイホーム借上げ制度」の普及)

- ・マイホームオーナーへの制度普及に向けた取り組み(セミナー・相談会の実施)
- ・JTI「マイホーム借上げ制度」市内協賛事業者 意見交換会の開催

5. 新たな住宅セーフティネット制度に対応した居住支援事業の展開

- ・高齢者の各相談窓口業務の明確化や連携強化を図るため、ヒアリング及び勉強会を行った
- ・ヒアリング及び勉強会の結果から、相談体制の充実や適切な窓口への誘導のため、相談対応マニュアルを策定した

6. 新たな住宅セーフティネット制度の住宅登録の開始

7. 市内のNPO法人を対象とした居住支援および生活支援の実施の有無に関するアンケート調査の実施

8. 居住支援を実施している団体を対象としたヒアリング調査の実施

9. 不動産事業者との連携強化・連携事業の立ち上げ検討

- (一社)兵庫県宅地建物取引業協会との勉強会の開催